





## 日本医師会 定例記者会見

1月7日

新年に当たつて  
松本吉郎会長は今年初めての定例記者会見に臨み、新年に当たつて、参議院選挙や令和7年度補正予算、令和8年度診療報酬改定における改定率の議論など、激動の一年となつた昨年を振り返るとともに、2026年はそれらを受けて、着実になるとの所感を述べた。

冒頭、松本会長は本年の干支である丙午に触れて、「丙」午共に「火」の要素をもち、それが迷信にもつながっていることができる。本年は（自身が）年男であり、地域医療を守るという強い決意と信念の下、情熱的かつエネルギーと捉えられることがでた。本年は一年にしたい」との抱負を述べた。また、昨年を振り返り、特に印象深いものとし

て、与党に極めて強い逆風が吹く中での参院選において、かまやち敏副会長（当時）が医療・社会保障関係候補者7名のうちトップで当選を果たしあとで、当選後の活躍を勞うとともに、今後も更なる活躍に期待を寄せた。

次に、令和7年度補正予算が医療・介護合わせて約1・4兆円、厚生労働省の医療分の予算だけで1兆368億円となり、更に文部科学省の予算や内閣府の重点支援地方交付金も措置されるなど、大規模な補正となつたことを挙げた。

その上で、財務省はこれらが令和8年度診療報酬改定の前倒しであるとの認識を示していたことから、2026年に触れ、「あくまで過年」と反論するとともに、改定率の不足分への対応であるとの認識を示して、令和8年度診療報酬改定においては更なる賃上げ・物価高騰対策が不可欠であることを強く主張してきた」と説明した。

## 新年に当たつて

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会

の

会長

として

新年に當たつて

挨拶

を行つた。

松本吉郎会長

は

日本医師会



## 審議会報告

### 中医協総会（1月9、14日）

中医協総会が1月9、14日に都内で開催され、令和8年度診療報酬改定における賃金上昇、物価高騰への対応について議論が行われた。厚生労働省事務局からは昨年末に大臣折衝によって決定した診療報酬の改定率を踏まえ、以下の方向性が了承された。

- 外来・在宅や訪問看護と同様、目標とする賃上げに必要な金額の中央値に基づいて、(I) を設定し、それよりも相当多くの財源を要する事業所を対象に(II) を設定する。
- 入院については、現行のベースアップ評価料が4割程度であることを踏まえて、令和7年度の届出の有無により評価を分けている。
- 入院については、現行の構造と同様、医療機関ごとに賃上げに必要な金額を算出し、外来・在宅ベースアップ評価料で得られる金額を控除した上

で、延べ入院患者数で除したものと、入院1日当たりの評価とする。その際、令和6年度のベースアップ評価料及び令和8年度改定での賃上げ余力の回復・確保分については、入院料ごとの平均的な水準を入院基本料に統合することとし、令和6～7年度にベースアップ評価料を届け出でないかたた保険医療機関については減算等の対応をする。

事務職員、40歳未満の勤務医師については、賃上げのための評価が適切に賃上げに活用されるよう、現在のベースアップ評価料の対象職種に新たな評価料を届け出るとともに賃上げに必要な金額を算出してベースアップ評価料を届け出るともに、全体として算定総額が賃上げに活用されることを必須とする。

その際、40歳未満の勤務医師の賃上げに必要な金額の算出に当たっては、40歳未満の常勤の医師の人数に一定額を乗じることとする。

● 名称については、医療従事者の人材確保や待遇改善のために必要な費用

である趣旨が分かりやすく表現されるよう、看護職員待遇改善評価料、現在のベースアップ評価料及び令和8年度以降の評価の名称を統合することも含め、名称のあり方にについて考える。

### 賃上げに向けた簡素化

その他、幅広い医療機関の賃上げに向けた簡素化等として、以下の作業負担の軽減策が示された。

● 届出に必要な事項を厳選して簡素化を図ることも、賃金改善計画書を廃止した上で、実績の把握を結果の検証や翌年度に向けた検討に生かすため、算定年8月頃に賃上げ状況の中間報告、算定終了後の8月頃に算定期と賃上げ額に関する実績報告の提出を求めるようになる。

● 現在、算定区分の再計算を3ヵ月に1回求めているが、再計算は従事者数や診療回数・日数に大きな変動があった時のみ任意に行うこととする。

● 同一法人が複数の病院・有床診療所・薬局を有する場合には、これら

を通算して給与総額や賃上げ総額を算出した上で、事業所ごとの報酬総額等の指標で按分することを認める。

### 『物価高騰』

● 外来診療に対する物価上昇への対応方法として、令和6年度診療報酬改定以降の、経営環境の悪化への対応分については、初・再診料など（訪問診療料、初・再診料の評価が包括される診療報酬項目も含む）の増額として対応し、令和8年度以降の物価上昇への対応については、昨年末の大臣折衝事項で「診療報酬に特別な項目を設定する」と盛り込まれている点を踏まえ、初・再診時に算定可能な「物価

● 高度機能医療を担う病院（大学病院を含む）へは、その趣旨に沿って、大臣折衝事項を反映した

● 各医療機関が理解しやすい内容に

● 江澤常任理事

上昇に関する評価」を新設する（令和8、9年度で段階的に対応し、評価額は令和9年度は令和8年度の2倍とする）ことを想定。

● 入院診療に対する物価上昇分への対応として、令和元年の消費税補填における対応も参考としつつ、特定機能病院、急性期、回復期、慢性期、精神にグループ分けし、能病院、急性期病院、そのグループごとの入院料の物件費率等を基に、の配分額を算出し評価する。

● 正予算による支援の考え方を踏まえ、回復期、慢性期、精神については、1日当たり定額を配分し、

● 入院診療に対する令和6年度改定以降の経営状況の悪化に対する対応について

については、令和7年度補

設する（令和8、9年度

への評価に上乗せする。

● 入院診療に対する令和

6年度改定以降の経営状況の悪化に対する対応に

そうした機能を担う病院

で段階的に対応し、評価

は令和9年度は令和8年

度の2倍とする）ことを想定。

● 入院診療に対する物価

上昇分への対応として、

令和元年の消費税補

填における対応も参考と

しつつ、特定機能病院、

急性期、回復期、慢性期、

精神にグループ分けし、

能病院、急性期病院、そ

の他の急性期の3類型へ

の配分額を算出し評価す

る。

● 入院診療に対する令和

6年度改定以降の経営状況の悪化に対する対応に

については、令和7年度補

設する（令和8、9年度

への評価に上乗せする。





和5年度都道府県  
医師会広報担当理  
事連絡協議会（令  
和5年4月13日開  
催、本紙第148  
1号参照）で紹介  
された大阪府・広  
島県両医師会の広  
報活動を知り、当  
会の活動との差を  
感じ、同時に焦り  
を覚えることにな  
りました。

両医師会では、  
広報を情報発信に  
とどめず、広報活

が急務であるとの認識をもちました。

にない幅広い媒体を活用したり、子どもと保護者と一緒に夏休みの自由研究にもながる健康教育イベン（認知症VR体験）を実施したりしました。

参加者数は必ずしもくありませんでしたが、子ども達が医療体験をして医師の仕事を興味もち、聴診器を手に笑顔を見せる姿が印象的でした。

この経験は、「次世代への働き掛け」という

ト」の商標登録が実現され、他団体やメディアから「神奈川県医師会の広告が変わった」との声が寄せられるようになります。た。

### 今後の展望

これまでの苦しみも、いた、当会の取り組みや、程を赤裸々に紹介したとを理由に評価され、念すべき第1回目の受講となりましたが、まだ一歩に到達したわけではありません。

い  
ならば  
人が既に集まるといふ  
活動しよう  
②人の興味を引くこと  
難しい  
ならば  
既に流行っているもの  
あやかろう  
③まじめな団体が広報  
るのは難しい  
ならば  
小さな悪をちりばめようと  
そしてプロ（マスク）  
の力を使おう

# 日本医師会医学図書館 利用案内

どこにいても大学図書館並みのサービスを



- 医学図書館は、日本医師会ホームページの会員専用コーナー(メンバーズルーム)を通じて、ご自宅や勤務先などからご利用いただくことができます。

- 郵便・FAXによるお申し込みも承っています。  
詳しくは下記までご連絡ください。

日本医師会医学図書館

— 住所 :〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
— TEL:03-3942-6492(直) FAX:03-3942-6495  
— MAIL:jmalib@po.med.or.jp





## 3月11日(水)開催の特別上映イベント 「2026オーケストラの夕べ」に 抽選で200組400名様をご招待



日本医師会ではこのたび、医療ドラマの名曲を演奏するオーケストラ“ORCHESTRA POSSIBLE～音楽は心のくすり～”の特別上映イベントとして、「2026オーケストラの夕べ」を開催し、抽選で200組400名様を無料でご招待することになりました。

本イベントは、日本医師会が全国のイオンシネマで行われる、ヴァイオリニストの枝並千花氏とプロデューサーのレーザー鹿島氏による「ORCHESTRA POSSIBLE」の公演（昨年4月・東京オペラシティ）を収録した映像の上映会を後援することになったことから、開催できることになったものです。

当日はお二人によるトークショーも予定しています。2018年の公演映像はYouTubeで累計1,900万回再生を記録するなど、大きな反響を呼んだものとなっていますので、ぜひ、日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録の上、ご応募下さい。

**◆開催日時：3月11日（水）午後6時30分～（受付は午後5時30分～）**

**◆会場：**日本医師会館1階大講堂（東京都文京区本駒込2-28-16）

**◆対象者：**日本医師会員並びにそのご家族、日本医師会員が所属する医療機関で働く医療従事者、医学生

**◆応募締切：2月16日（月）午後11時59分まで**

**◆申込方法：**

①二次元コードを読み込んで日本医師会LINE公式アカウントを友だち登録（登録済みの方はトーク画面に飛びます）

②応募フォームより必要事項を記入

③応募完了！

※応募は一人1回に限らせて頂きます（複数回の応募は無効とさせて頂きます）。

※当選者の発表は、LINEの通知をもって代えさせて頂きます。

※1回の申し込みで最大2名様まで応募が可能です。

※受付では事前にお送りしたLINEの当選通知のご提示をお願いします（LINEの当選通知を削除された方はご入場できない場合もございますので、あらかじめご了承願います）。

※お席は自由席となっており、事前の予約はできません。車椅子の方は申込時にその旨をお申し出願います。

※駐車場及びクローコーはございません。

**◆問い合わせ先：**日本医師会広報課 ☎ 03-3946-2121（代）



◆メインテーマ：子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指してこの子らの笑顔のために、

◆主催：日本医師会、高知県医師会

B-I子ども希望財団、高知県医師会

◆日時：2月28日（土）午後1～4時

◆会場：新潟急行（3階花の間）〒780-8561 高知市本町4-2

◆定員：200名

◆主なプログラム：

・開会あいさつ（日本医師会）

・シンポジウム

・シンポジウム